

オペラシアターこんにゃく座

オペラ 森は生きている

‘もえるもえるあざやかに’

月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで

〈むすめ〉はなにをもらったか？

女王はなにを学んだか？

1992年の初演以来、時を経てもなお人々に愛され続ける
オペラ『森は生きている』。

ロシアの森を舞台に一月から十二月までの〈月の精〉たちと
人間たちが織りなす物語を

12人の歌手とピアニストによってお贈りします。

原作 サムイル・マルシャーク

(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣



2021年2月におこなった新演出公演が

「第18回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞」を受賞しました！

公演評より

「十二月の月」など、オペラ全編にあふれる宝石のような歌たちが深く優し
く語りかけてくる。それを聴きなぐ
ら胸がいっぱいになった。しかも歌
とセリフのひとつひとつが、今日の
鋭い問いかけとなって私たちに
迫ってくる。(うたごえ新聞)

ものがたり

新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が、四月に咲くマツユキ草がほしいと
言い出したために、国じゅうは大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘
のいっつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人のむすめが真っ暗な森に追いやられます。
そこでは十二月の精たちがたき火を囲んで新年を迎える儀式の最中でした。
むすめの話を聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ
「時」をゆずってもらいます。むすめの帰りを待ちかまえていた継
母と姉娘はマツユキ草を取り上げ、宮殿の女王の元へ。女王は、
みずからマツユキ草を摘むために家来たちを引き連れて森へと出
かけていきます。しかし、そこで待ちうけていたものは…。



オペラシアター
こんにゃく座

こどもから大人まで楽しめる、明瞭な日本語によるオペラの創造と上演をしています。

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1 TEL 044-930-1720 <https://www.konnyakuza.com>